


山都町立矢部小学校 学校だより

自分らしく ~Be Unique~

矢部小HP

令和6年6月3日(月)

第10号

2次元コード ←

カラー閲覧できます

校長 池部

聖吾智(みわとも)

児童の表現力を育てる

先週3年生の算数に補欠で入ったのですが、その日の日記の記事にしてくれた子がいました。(※左写真参照)



さることながら、所定の行数にピッタリと収めていた。ワロがゴイと思いましたが、制限時間内に納める作業はやりやすくない。手書きです。しかし、この日記は消しゴムで消さねばならない。跡がよく見ると2か所消した。つまり、この日記はほとんど「一発書き(池部の造語)状態だ」ということです。

学校司書からの月報告に「2・3年生が推薦図書をよく借りている」とありました。読書や日常的に書かせる指導の成果が出てきているようです。

こういふ反応がある。「行ってよかつたな」と心から思います(ご)記事にしてくれたことも

読書の恩恵と効率を高めるメソッド 出典:「1%読書術」 KADOKAWA マグ著

前掲書によると「読書の恩恵」として●「知識」は恐怖を克服する解毒剤●想像力と共感力の向上●脳を最大限にリラックスさせる・・・が挙げられています。

社会人が学習にあてる時間は1日平均6分だそうです。そこで15分読書を毎日の習慣にすることで平均の倍以上学びの時間がとれることになりました。15分は1日の1%にあたります。これがこの本のタイトルの意味するところ。

右写真は5/30朝、1年生の読み聞かせを準備されている様子です。ブックスタンドを持参され、本の角度を調整されていました。前掲書を読んでいたら「長時間読むときは、ぜひブックスタンドを使ってみてください(p127)」という記述がありました。読んでいてこの時の場面をすぐに思い出しました。



矢部抄

先週教室を見回っていると、集団宿泊教室で不在の5年生教室を見ていて寂しい気持ちになった▼すべての日程を終え、31日の16時に5年生全員が無事に帰ってきて安心した。5年生の到着を待っている時間に、迎えに来られていた保護者と話す中で、本校HPに掲載した宿泊教室の様子が好評だったことを聞いて嬉しかった▼今月13〜14日の6年生修学旅行では、私も団長として引率する。タブレットを持参して現場からのHP発信および「実況中継」も視野に入れている▼いよいよ6月に入った。梅雨の時期に入ると、さらに心身共に疲れやすくなり、いろんなことが発生しやすい月である。また、祝日が全くないので土日以外はすべて授業日となる。つまり、学校としては学力充実の時期となる。子どもたちの心身の健康状態に配慮しながらも、しっかりと鍛えていきたい。